

# あぐりの湯 こもろ

Agurinoyu Komoro  
(長野県小諸市)



外観

小諸周辺の地図を広げてみると、北は浅間山などの山々が、そして上信越道を挟んで反対側には小高い丘がある。この丘の中腹にあるのが今回紹介するあぐりの湯 こもろである。

あぐりの湯 こもろの最大のポイントはスケールの大きさと眺望の良さであろう。建物は極めて大きく、天井も高い。中に入ると大きなロビーがあり、マッサージルーム、マッサージ椅子、売店、食事処、大広間、無料で利用できる貴重品ロッカーなどがある。温泉は左側だ。

脱衣室には9つもの洗面台、98個のロッカー（コインは不要）、60個の籠が置かれている。圧倒的なキャパシティーである。変わり種としては湯上り室。定員4人ほどの小さい部屋だ。風呂上がりに入って体を冷やし、乾燥させるための部屋のようなものである。

浴室も巨大である。手前に洗い場が21か所あり、リンスインシャンプーとボディーソープは完備。カランは自閉式サーモスタット混合栓である。シャワーブースも2か所ある。シャワーブース隣にある打たせ湯は使用されていないようだ。

浴槽は大きな浴槽が2つに仕切られ、それぞれ湯温は40℃と42℃と表示されている。熱めとぬるめの湯という設定なのだが、あまり際立った違いはない。定員は両方合わせて40人くらいだろうか。とにかくでかい。他に、ジャグジー、水風呂がある。ジャグジーは湯温40℃表示され、適温。猛烈な量の泡を浴びることができる。自分の体が浮き上がってしまいそうな泡の勢いである。定員は4人ほど。水風呂は水温1℃と表示。恐ろしい冷たさで

ある。上級者向けだ。こちらの定員は2人ほどだ。

あぐりの湯 こもろの最大の見せ場は露天風呂だ。正確には半露天風呂である。浅間山、黒斑山、高峯山、水ノ塔山、東麓ノ登山、西麓ノ登山、湯ノ丸山、烏帽子山などの山々が、圧巻のスケールで迫ってくる。この景色を見るだけでも十分な価値がある。しかも、ここでは温泉につかりながら眺められるというわけである。素晴らしい。思わず言葉を失ってしまう。夜は夜景もきれいである。

サウナは定員16人、室内温度98℃。実はサウナからも露天風呂と同じ眺望を楽しむことができる。サウナで体を熱くし、露天風呂で冷やす。そんな楽しみ方もできるのだ。

ちなみに、あぐりの湯 こもろの湯はナトリウム-塩化物泉（低張性弱アルカリ性温泉）で、筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり（関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期）、運動麻痺における筋肉のこわばり、胃腸機能の低下（胃がもたれる、腸にガスがたまるなど）、軽症高血圧、耐糖能異常（糖尿病）、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状（睡眠障害など）、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりきず、末梢循環障害、冷え性、うつ状態、皮膚乾燥症などに効くという。

売店ではイチゴ狩りで有名な小諸布引いちご園のいちごも販売されているが、売り切れ必至の人気商品である。もちろん他にもさまざまな地場の土産物が売られている。小諸を心ゆくまで堪能できる温泉、それがあぐりの湯 こもろだ。

- 名称：あぐりの湯 こもろ
- 所在地：長野県小諸市大久保字中山 1145-1
- 電話：0267-24-4126
- 営業時間：10:00～21:00（最終受付 20:30）
- 定休日：毎月第2、第4火曜日（祝日の場合は翌日休）
- 入浴料：大人（12歳以上）500円、小人（6歳以上12歳未満）300円
- サウナ：なし
- サウナ内のテレビ：なし
- 取材日：2016年2月6日（土）
- 取材：銭湯愛好会東京支部